科目名: 病理学＜含、口腔病理学＞	必修	2単位(90時間)
(Pathology ・ Oral Pathology)		

履修年次/時期: 1年次 後期　　授業形態: 講義

主担当教員: 槻木 恵一

主担当教員詳細: 歯科医師の実務経験あり 病理学に関する基礎的知識を身につけられるような講義を行って いく

担当教員名:

学修目的

「病理学総論」では、病気の基本的メカニズムを学びます。さらに総論の知識を基盤に各疾患の特徴を「口腔病理学」で学びます。総論で述べられている病理学的な考え方は医学の基礎であり、歯科医学を含む医学や医療に携わる者が共通に身につけなければならない基本です。
本講義では、病気の原因、発症の機序、進展、および転帰を明らかにし、病気の予防や治療の基礎となる知見を習得することを目的とします。

関連するCP: CP2　　科目No. S1B06H15

この科目が目的としているDP

1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
	(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
	(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
	(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。	○
3. 口腔の健康支援を通し全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
	(2)優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○
	(3)歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○

◎: この講義・演習・実習と最も関連があるDP
○: この講義・演習・実習と関連があるDP

到達目標

①病理学を通じて病変の発生メカニズムを理解することができるようになる。
②病気の診断、治療ならびに予防について考えることができる。
③歯科疾患の特徴を病理組織学的に理解することができる。

授業概要

病理学を知らないと病気について患者さんに充分な説明ができない。病理学は、病気にはどんな種類があるのか、どうして起こるのか、どのように経過するのかを学ぶ科目である。そのため前半は、その最も基礎的な事を学修する。後半は口腔に発生する病気について理解し、さらに、実習として辺縁性歯周炎の顕微鏡観察を行い、歯周疾患に関する理解を深める。

評価方法

本試験100%。
最終成績は総合評価。試験に対するフィードバックは掲示で行う。

予習・復習時間

【予習】2時間
【復習】2時間

教科書

最新 歯科衛生士教本 病理学　全国歯科衛生士教育協議会・監修　医歯薬出版

参考書

新歯科衛生士教本 病理学　全国歯科衛生士教育協議会・編集　医歯薬出版

オフィスアワー連絡先

槻木恵一　9:00～17:00　病理学研究室(第2研究棟5F)
tsukinoki@kdu.ac.jp　不在時はメールでお願いします。

実施回	第1回	実施日	2026/09/07 (月)	時限	4	班	
授業計画	病理学序論と病因論 ①疾患の多様性と共通性について説明できる ②疾病の経過と転帰について説明できる ③病因と疾病の成り立ちについて説明できる ④内因と外因について説明し、具体例を列挙できる	予習	教科書P1-7を読んでおくこと				
		復習	病因論の意味、内因と外因の違いを振り返ること				
		キーワード	病因論、内因、外因				
授業形態	講義	担当	槻木				

実施回	第2回	実施日	2026/09/16 (水)	時限	2	班	
授業計画	代謝障害と退行性病変 ①細胞障害による変化を列挙できる ②変性の種類を列挙できる ③代謝障害の種類を列挙できる ④壊死とアポトーシスの違いを説明できる	予習	教科書P23-33を読んでおくこと				
		復習	萎縮、変性、壊死、アポトーシスの違いを振り返ること				
		キーワード	萎縮、変性、壊死、アポトーシス				
授業形態	講義	担当	槻木				

実施回	第3回	実施日	2026/10/07 (水)	時限	2	班	
授業計画	増殖と修復 ①進行性病変の種類と意義を説明できる ②創傷治癒や再生の基本的な考え方を概説できる ③様々な異物に対する生体の処理法について説明できる ④肉芽組織の構成と機能について説明できる	予習	教科書P34-42を読んでおくこと				
		復習	肥大、増生、化生、再生の違いと肉芽組織の意味を振り返ること				
		キーワード	肥大、増生、化生、再生、肉芽組織				
授業形態	講義	担当	槻木				

実施回	第4回	実施日	2026/10/14 (水)	時限	2	班	
授業計画	循環障害 ①体液の循環について概説できる ②水腫・虚血・うっ血・充血・血栓・塞栓・梗塞を説明できる	予習	教科書P14-22を読んでおくこと				
		復習	水腫・虚血・うっ血・充血・血栓・塞栓・梗塞の意味を振り返ること				
		キーワード	全身の循環障害、局所の循環障害、循環血液量の障害、閉塞性の障害				
授業形態	講義	担当	槻木				

実施回	第5回	実施日	2026/10/21 (水)	時限	2	班	
授業計画	炎症と免疫応答1 ①炎症とは何かを説明できる ②炎症の臨床症状を説明できる ③炎症の原因と機序を説明できる ④炎症の経時的変化を説明できる	予習	教科書P43-59を読んでおくこと				
		復習	炎症の意味、炎症に関与する細胞の種類と機能を振り返ること				
		キーワード	炎症の概念と徴候、炎症の原因、炎症の機序と病態				
授業形態	講義	担当	槻木				

実施回	第6回	実施日	2026/10/28 (水)	時限	2	班	
授業計画	炎症と免疫応答2 ①炎症の分類と各炎症の特徴を説明できる ②免疫応答を説明できる ③液性免疫と細胞性免疫を説明できる	予習	教科書P43-59を読んでおくこと				
		復習	急性炎症と慢性炎症の違い、炎症の分類を振り返ること				
		キーワード	急性炎症、慢性炎症、肉芽腫性炎				
授業形態	講義	担当	槻木				

実施回	第7回	実施日	2026/11/04 (水)	時限	2	班	
授業計画	腫瘍1 ①腫瘍の定義を説明できる ②腫瘍の原因と発生機序を説明できる ③がん遺伝子とがん抑制遺伝子について説明できる ④腫瘍の組織学的特徴を説明できる 腫瘍2 ①上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍の例を列挙できる	予習	教科書P60-68を読んでおくこと				
		復習	腫瘍の定義、発生機序と原因を振り返ること 腫瘍の分類、前癌病変の意味を振り返ること				

	①上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍の例を列挙できる ②良性腫瘍と悪性腫瘍について説明できる ③前癌病変について説明できる	キーワード	腫瘍の概念と疫学、原因と発生・進展の機序、腫瘍の組織学的特徴 上皮性腫瘍、非上皮性腫瘍、良性腫瘍、悪性腫瘍、前癌病変
授業形態	講義	担当	槻木

実施回	第8回	実施日	2026/11/11 (水)	時限	2	班	
授業計画	各論 歯の発育異常 ①歯の発育異常の種類を説明できる ②歯の大きさ、形、構造、歯数の異常を説明できる ③歯の萌出時期の異常を列挙できる	予習	教科書P70－80を読んでおくこと				
		復習	歯の大きさ・形・数・構造・色・萌出の異常の特徴を振り返ること				
		キーワード	歯の大きさ・形・数・構造・色・萌出の異常				
授業形態	講義	担当	槻木				

実施回	第9回	実施日	2026/11/18 (水)	時限	2	班	
授業計画	う蝕 ①う蝕の疫学を説明できる ②う蝕発生に関わる要因について説明できる ③う蝕の分類について説明できる ④う蝕の組織学的変化について説明できる	予習	教科書P88-96を読んでおくこと				
		復習	う蝕の疫学と病因・分類・組織学的変化の違いや特徴を振り返ること				
		キーワード	エナメル質う蝕、象牙質う蝕、セメント質う蝕				
授業形態	講義	担当	槻木				

実施回	第10回	実施日	2026/11/25 (水)	時限	2	班	
授業計画	象牙質・歯髄複合体の病態 ①歯髄炎の臨床病態・原因・分類を説明できる ②歯髄炎の病理組織像について説明できる ③歯髄の退行性変化について説明できる	予習	教科書P97-104を読んでおくこと				
		復習	歯髄炎の病因と発生機序・分類・歯髄の退行性変化の種類や特徴を振り返ること				
		キーワード	歯髄充血、歯髄の変性、歯髄壊死・壊疽、歯髄炎の分類・特徴				
授業形態	講義	担当	槻木				

実施回	第11回	実施日	2026/12/02 (水)	時限	2	班	
授業計画	歯周組織の病態(根尖部歯周組織の病変) ①根尖部歯周炎の病因と分類について説明できる	予習	教科書P105-109を読んでおくこと				
		復習	根尖性歯周炎の病因と発生機序、根尖性歯周炎の種類、歯性上顎洞炎の特徴を振り返ること				
		キーワード	根尖性歯周炎、歯根嚢胞				
授業形態	講義	担当	槻木				

実施回	第12回	実施日	2026/12/09 (水)	時限	2	班	
授業計画	歯周組織の病態(辺縁部歯周組織の病変) ②歯周組織の構造、歯周病の病因について説明できる	予習	教科書P110-121を読んでおくこと				
		復習	特徴を振り返ること				
		キーワード	根尖性歯周炎、歯根嚢胞				
授業形態	講義	担当	槻木				

実施回	第13回	実施日	2026/12/16 (水)	時限	2	班	
授業計画	口腔粘膜の病変、口腔領域の嚢胞と腫瘍	予習	教科書P122-143を読んでおくこと 教科書P146-159を読んでおくこと				
		復習	口腔粘膜の特徴、嚢胞の特徴 口腔癌の特徴				
		キーワード	口腔扁平苔癬、口腔カンジダ症 扁平上皮癌、前癌病変				
授業形態	講義	担当	槻木				

実施回	第14回	実施日	2027/01/06 (水)	時限	2	班	

授業計画	口腔癌 顎骨の病変	予　習	教科書P152-151を読んでおくこと 教科書P152-160を読んでおくこと
		復　習	口腔癌の特徴 顎骨骨髄炎の特徴
		キーワード	扁平上皮癌、口腔潜在的悪性疾患
授業形態	講義	担当	槻木

実 施 回	第15回	実　施　日	2027/01/13 (水)	時限	2	班	
授業計画	唾液腺の病変 口腔組織の加齢変化 振り返り	予　習	教科書P161-166を読んでおくこと 教科書P174-180を読んでおくこと				
		復　習	唾液腺腫瘍の特徴 加齢による口腔内の変化 これまでの講義内容を振り返ります				
		キーワード					
授業形態	講義	担当	槻木				